



## 泥池から

副校長 大貫 修

五小の池にきれいな睡蓮の花が咲きました(写真)。鮮やかな白い花びらが見事に輝いています。睡蓮は蓮とよく似ています。見分け方は、葉が水面に浮かんでいて、切込みがあるのが睡蓮です。蓮は葉や花が水面から立ち上がっています(立ち葉というそうです)。どちらも抽水植物といって池の底の土や泥に根を張って生育しています。

この花を見ると、中学校の卒業式を思い出します。当時、決まっていた生徒とは言えなかった自分が、校長先生から「明日」という詩をいただきました。



「明日」	安積得也
はきだめに えんどう豆咲き	
泥池から 蓮(はす)の花が育つ	
人皆に美しき種子(たね)あり	
	明日何が咲くか

希望よりも不安の方が格段に大きかったその頃、この詩が自分の背中を押してくれました。40年後の今、改めて考えると、この詩が私の自己肯定感を高めてくれた言葉だったと言えます。

一つの詩や歌、一言の言葉によって心が救われることがたくさんあります。2年生の子供たちも、友達

から「一緒に遊ぼう」と言われて仲良くなれたことや、けがをした時「大丈夫?」と心配の声をかけてくれたことが嬉しかったと、道徳の時間に発表していました。教師の一言も同じです。子供たちのやる気を引き出すのは教師の褒めて育てる姿勢です。人にはそれぞれによさが必要です。子供のよいところを見つけて、そのよさに気付かせてあげ、褒めて伸ばすことで子供たちの自己肯定感を高めていきたいと考えています。

### 【10月行事予定】 ~10月は読書月間です~

### 生活目標 落ち着いた行動をしよう

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 1日(木) 読書月間<br>避難訓練(不審者対応訓練)     | 15日(木) パワーアップタイム                       |
| 2日(金) 安全指導日                     | 16日(金) 稲刈り予備日                          |
| 5日(月) 読書週間始、4時間授業<br>研究授業(3年1組) | 17日(土) 登校日                             |
| 7日(水) 5・6年6時間授業                 | 20日(火) 日光移動教室説明会(6年)                   |
| 8日(木) 稲刈り(5年)                   | 21日(水) たてわり交流                          |
| 9日(金) 演奏体験ワークショップ(5年)<br>読書週間終  | 22日(木) 就学時健診(全学年 4時間授業)                |
| 12日(月) クラブ活動                    | 26日(月) クラブ活動                           |
| 14日(水) 児童集会                     | 27日(火) 札幌交響楽団演奏会(4~6年)                 |
|                                 | 28日(水) 図書委員による読み聞かせ(1~4年)<br>朝読書(5・6年) |
|                                 | 30日(水) 読書月間終                           |



## 2年生児童の様子

2年担任 森本 美玲

生活科では、「うごくおもちゃ」を作りました。空き箱や空き容器、トイレットペーパーの芯など、身近にある材料で「とことこカメ」や、「ロケットポン」、「ヨットカー」などを作りました。作りながら、「ゴムを2こにすると、高く跳ぶ。」「入れ物の隙間をなくすと、ポンとよくとぶ。」「よく動くように、かぎりをなくして軽くする。」など、なんの力で動くのか、どうやったらもっとよく動くのかを考えて、楽しんで作りました。作ったものを使ってみんなで遊びながら、さらに工夫をしています。

## 読書月間について

担当 佐藤 陽子

10月は読書月間とし、子供たちがより多くの本に触れることを目指して、朝読書、全校児童や職員からのおすすめの本の紹介、図書委員会による読み聞かせなどの活動に取り組んでいきます。

様々なメディアが発達し、簡単に多くの情報を得ることのできる現代ですが、活字としての本を読むことは、言葉で考える力や想像力が鍛えられ、読んで味わった経験を通して豊かな心を育むことにつながります。特に子供の時期に、読書を通して様々な想像をし、自分の言葉で考えていく経験を繰り返すことはとても大切です。

読書によって、子供たちの心と言葉はより育まれていくことでしょう。ぜひ、ご家庭でも本に触れる機会を大切にし、お子様と一緒に読書の喜びや楽しみを体験していただければと思います。子供たちが多くの本と出会い、自分の世界を広げていけることを願っています。

## 特別支援教育について

特別支援教育コーディネーター 善福 美絵

「合理的配慮」という言葉を耳にしたことはありますか。少数派と多数派それぞれを尊重するための理解と調整です。例えば、眼鏡、踏台、車いす、左利き用ハサミなどです。近年では、試験時間を長くする、別室受験をする、席を前にする、タブレットを使なども行われています。合理的配慮とは、主に多数派が考えたルールを少数派だけが努力したり苦しんだりしないよう、お互いのやさしさから生まれるものです。

「この子がこの子らしく育っていくこと」が一番大切です。一人一人のありのままを認め輝くために五小では、教職員も日々研鑽に励んでおります。

tyty国立市では、担任からの支援の他に、教室での個別支援(スマイリーサポート)や特別支援教室での支援(はばたき)等様々な支援方法があります。お子さんのことで気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。(保護者会資料

## <くにごの生活と健康シリーズ①>

「早寝・早起き・朝ご飯・朝の排便を習慣付けましょう」

校長 向井 美紀

昨年度実施された国立市給食センターアンケートやくにごアンケート、給食残菜量から、子供たちの実態が見えてきました。学校では給食の残菜量が少なく、ご家庭でもいろいろな食材を工夫して食事を作ってくださっていることが分かりました。一方で、就寝時刻、挨拶などのマナーなどを改善していく必要があります。子供たちの食生活や自分の健康に気を付けようとする気持ちを育てるために、学校での給食指導を含む食育や生活指導に加え、ご家庭でもお子さんの生活に目を向けていただけると嬉しいです。そのために、「くにごの生活と健康シリーズ」として、校内の各担当から5回にわたり、連載をさせていただきます。



今回は、睡眠についてです。お子さんは朝、すっきり目覚めていますか？ある学年のデータでは、「朝、すっきり起きられない」という子供たちが52.7%もいました。睡眠中は成長ホルモンが分泌されます。6歳から13歳までは、9～13時間が適切な睡眠時間とも言われています。「早寝・早起き」の習慣がなかなか確立できないという場合は、明日から「早起き・早寝」を始めてみませんか。そして日光を十分に浴びてから朝ご飯。一週間続けて体内時計を整えましょう。「早寝・早起き・朝ご飯、そして朝の排便」で、登校時には元気のよい挨拶を交わしたいですね。

## 人事異動のお知らせ(10月1日付)

○5年2組学級担任

新井 孝之教諭

○算数少人数

中島 綾菜教諭(国立第八小学校より転任)

○特別支援学級(つくし)指導員

下田 貴大指導員

よろしく申し上げます。